

優しかったお母さんは、
私を誘拐した人でした。

井上真央

永作博美

小池栄子 森口瑤子 田中哲司 市川実和子 平田 満 / 劇団ひとり / 余貴美子 / 田中 涙 / 風吹ジュン

原作：角田光代（中央公論新社刊） 脚本：奥寺佐渡子

監督：成島 出

youkame.com

制作プロダクション：ジャンゴフィルム 制作協力：日活撮影所 製作：「八日目の蟬」製作委員会 配給：松竹 ©2011映画「八日目の蟬」製作委員会 助成：森文化芸術振興費補助金

角田光代のベストセラー小説、衝撃の映画化。2011年GW公開

八日目の蟬

ようかめのせみ

直木賞作家・角田光代の衝撃のベストセラー小説

待望の映画化!

全ての女性たちに贈る、ヒューマン・サスペンスの最高峰

どしゃぶりの雨の中で起きた誘拐事件。

犯人は父の愛人。

連れ去られたのは、私。

私はその人を、本当の「母」だと信じて生きてきた。

直木賞作家・角田光代が手掛けた初の長編サスペンスであり、最高傑作の呼び声高い「八日目の蟬」。第2回中央公論文芸賞を受賞し、各メディアから絶賛と驚愕をもって迎えられたベストセラー小説が、『孤高のメス』の成島出監督によって、遂に映画化される。

不実な男を愛し子を宿すが、母となることが叶わない絶望の中で、男と妻との間に生まれた赤ん坊を連れ去る女、野々宮希和子とその誘拐犯に愛情いっぱい4年間育てられた女、秋山恵理菜。実の両親の元に戻っても普通の生活は望めず、心を閉ざしたまま大学生になった恵理菜は、ある日、自分が妊娠したことに気づく。相手は、希和子と同じように家庭を持つ男だった。

過去と向き合うために、かつて母と暮った希和子と暮らした小豆島へと向かった恵理菜が、そこで知った衝撃の真実とは？

主役の恵理菜役には、大ヒット作『花より男子ファイナル』『僕の初恋をキミに捧ぐ』などに主演し、人気、実力共にトップ女優の地位を獲得した井上真央。対する希和子役には、『腑抜けども、悲しみの愛を見せる』で07年の映画賞助演女優賞を総なめにした永作博美。そして、恵理菜の幼なじみに小池栄子、我が子との4年間を奪われた実の母親役に森口瑠子が配された他、劇団ひとり、風吹ジュン、田中哲司、市川実和子、平田満、田中泯、余貴美子ら実力派俳優が集結。2011年GW、究極のヒューマン・サスペンスが誕生する。



2011年GWロードショー